

参加者の皆さんからの提案・意見

① 加入率の低下を引き起こす理由って何だろう？

(1)コミュニティ役員に関するもの

- ・役が回ってくるのが嫌だ
- ・役員の負担(運転できなくなると難しい)
- ・強制的に順番が回ってくるので嫌だ
- ・役員がすぐに回ってくる
- ・役員が固定している
- ・次の役員を見つけるのが大変
- ・体力がない

(2)コミュニティの運営に関するもの

- ・魅力のある行事がない
- ・平日に活動する機会が多い
- ・コミュニティ会費の使い道がわからない
- ・コミュニティが何か理解されていない、魅力を感じていない
- ・入ってなくても出入りが自由
- ・コミュニティとしてコミュニケーションを取ろうとする対象が、会員のみに残まっている
- ・会員でない人達への働きかけを念頭に置かないと会員を獲得することにつながりにくい

(3)住民の考えに関するもの

- ・若者はコミュニティのイメージができていない
- ・加入するメリットがわからない
- ・土日をコミュニティの活動に使いたくない
- ・情報はSNSからでも手に入る
- ・コミュニティの有用性がわからない
- ・仕事をする人が増え、コミュニティに時間をさけない
- ・時間が取れない(めんどう、仕事が忙しい)
- ・女性も働いており、夜は出にくい
- ・ネット社会のため、地域とつながる必要がない
- ・みんなが個人主義になってきた
- ・社会教育の問題も大きい
- ・地域への愛着や親近感をもっていない
- ・高齢化や集合住宅の増
- ・子どもがコミュニティの行事に参加しない

(4)町の手続きに関するもの

- ・転入したときにコミュニティ加入に関する説明がない

② こんな地区なら「参加したい!」と思われる地区とは?

- ・広報は見ないため、学校に来てもらった方が親近感がわく(高校生)
- ・小中学校と連携してイベントを行う
- ・若者を受け入れてくれるコミュニティ(お祭りと聞いても世代によりイメージするもの違う)
- ・若者がブースを出店しやすくして欲しい(産業まつりなど)
- ・事業を見直す
- ・防犯、防災を地域でやっていく
- ・情報や明確なメリットを示す
- ・役員の負担を減らす
- ・役員をやったらメリットがほしい
- ・地域全体にアピールし、オープンなコミュニティにする
- ・子どもが地域に愛着をもてるようにする
- ・家族のように支え合うつながり
- ・企業も地域に協力してもらえよう巻き込む

③ 加入率の低下の改善につなげるために!

(1)住民のみなさんにできること

- ・行事に若い人が参加したら声をかける
- ・日々のなかで、あいさつ等、直接声をかける
- ・チラシを持って、直接声をかける
- ・自分ができること、マイプロデュースの思考を活かす

(2)コミュニティに期待すること

- ・PRを継続する
- ・森岡や藤江のようにパンフレットを作成して知らせる
- ・各地区の憩の家について、幅広い世代が使えるよう門を広げていく
- ・学校とのつながりをもつ(若者はやる気がある)
- ・ボランティア団体は小規模、少人数が増えている。コミュニティの理解で応援してもらいたい(お金の面)
- ・ボランティアの声かけをする(小中学校にも)
- ・伝統も大事だが、新しいことをやっていくことも大事
- ・子どもを対象にしたイベントを開催する
- ・住民にアンケート調査をする、地域住民の意見を聞く
- ・魅力のある行事を企画する
- ・区民体育祭が無くなったので、年齢別体力測定をする
- ・防災に繋がる行事を企画する
- ・地域住民にコミュニティ加入の有効性をアピールする(町も)
- ・メリット(防犯・防災)の理解のためにコミパンフレットを作成する
- ・会費の見直し
- ・防災に関することを中心に活動する

(3)町に期待すること

- ・学校で出前授業をやって欲しい(コミュニティも)
- ・転入届と同時に、コミュニティ加入や、ごみ捨て場、コミセンの案内ルートを伝える
- ・町の補助を増やし、会費を徴収しない
- ・過剰や均一的にお金の補助をしない(自分で努力しなくなるから)